

# 秋の叙勲・危険業務従事者叙勲

## 晴れの受章、おめでとうございます

### 秋の叙勲

昭和39年に旧和賀町消防団に入団し、平成11年に北上市消防団長を退くまで35年間、地域の防火防災活動に尽力されました。3年に新市消防団の本部長を務め「苦労も多かったが一番充実した時だった」と振り返ります。受章は「東日本大震災で犠牲となった消防団員も多く、地域のためにおまえも頑張れ!という応援と受け止めている」と語っていました。



**瑞宝単光章**

【消防功労】

**小原 邦雄 さん**

(和賀町横川目・72歳)

政府は、10月8日付で「第17回危険業務従事者叙勲」受章者を、11月3日付で「平成23年秋の叙勲」受章者をそれぞれ発表しました。

叙勲は、長年にわたりさまざまな分野で社会に貢献された人に贈られるもので、いずれも11月3日付で発令されました。市内では次の皆さんが受章の栄誉に輝きました(了承を得た人のみ掲載しています)。

### 危険業務従事者叙勲

昭和35年から平成14年3月に岩手警察署長を退職するまでの42年間、県民の治安維持に尽力されました。長く交通関係に携わり、昭和52年11月開通の東北道(一関―盛岡南インターチェンジ間)に配置された最初の県警高速隊員に、「新しい職務で緊張したが、やりがいがあった」と振り返り、「心身共に健康が大事」と家族の理解と支えに感謝していました。



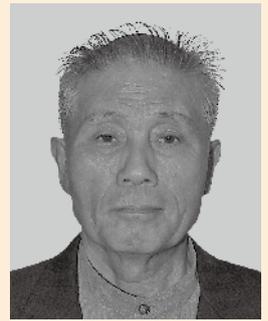
**瑞宝双光章**

【警察功労】

**高橋 岩人 さん**

(相去町・70歳)

昭和40年に北上市消防士となり、以来、平成12年に消防指令長で退職するまで35年間にわたり、消防・救急業務に尽力されました。消防士となつて間もなく和賀町仙人地区や川岸地区で発生した大火での消火活動が印象深いと述べ、叙勲は「沿岸被災地の消防職員の心情を思うと、自分が受章していいのかとの思いがある」と静かに喜びを語っていました。



**瑞宝双光章**

【消防功労】

**小館 長純 さん**

(二子町・70歳)

### 「ご利用ください」

#### 住宅リフォーム工事の助成制度

住宅関連産業など地域経済活性化のため、市民が居住する一般住宅のリフォーム工事に對して補助金を交付します。

▼対象住宅：賃貸ではない、または賃貸する予定のない住宅

▼対象となるリフォーム：①市内に本店のある業者を利用する工事であること  
②交付決定後に着手し、平成24年3月30日(金)までに完了報告できること  
③国、市、他の補助金制度を利用する部分以外であること  
④対象工事費が30万円以上(立花、更木、黒岩、口内、稲瀬、和賀、岩崎地区交流センターの区域は20万円以上・消費税を除く)であること

▼対象者：①市内に住所があり、対象住宅に居住し、対象住宅を所有している人  
②住宅に對して、東日本大震災により災害義援金または被災者生活再建支援金の交付を受けていない人  
③本人および本人と生計を同一にする世帯員が市税などを滞納していないこと

▼補助金の交付額：対象工事費の5分の1で上限10万円

▼募集数：300件(募集数に達するまで受け付けします)

▼申し込み：建築住宅課(内線)4232・4233へ。※郵送の場合は、切手を貼った返信用封筒を同封のこと。申請書パンフレットは市のホームページまたは本庁舎総合案内、和賀庁舎民生係、各地区交流センターでご覧いただけます。